

# ミニトマト（アイコ）を用いた栽培試験について

東御市圃場 1 号棟

		試 験 区	対 照 区
I	タ	・普通液肥 100% ・肥料 0%	・液肥 0% ・肥料 100%
	イ		
プ			
II			
II	タ	・濃縮液肥 100% ・肥料 50%	
	イ		
プ			
II			

東御市圃場 対照区・試験区ハウス



対照区・試験区ハウス



種蒔き：平成19年2月15日

発芽：平成19年2月25日

丈の長さ：24.0cm～25.0cm

平成19年4月17日検測



定植：平成19年4月17日 (対照区・試験区)



対照区・試験区区分状況



試験区(2)タイプII



トマト生育状況



トマト生育状況



トマト収穫状況



試験区収穫生育状況



ミニトマト収穫検収状況

各試験区収穫検収状況



各試験区収穫検収状況





検収完了

## トマト試験栽培結果及び評価

### 結果・評価にあたり

- ①栽培圃場は土壌試験結果より肥料過多の圃場である。
- ②品種は異なるが連作による栽培である。
- ③生育・収穫・糖度調査については、前年度トマト栽培を行なっているが品種が違う為、前年度との比較は出来ない。
- ④液肥（タイプⅠ・Ⅱ）投入は3回（7月2回・8月1回）行なわれた。
- ⑤全試験区調査中病気の発生は観察されず、無農薬にて栽培された。

### 【 生育 】

#### イ) 生育結果

##### \* 対照区・・・普通栽培

別ハウス同様に普通栽培を行い生育も順調、病気に発生も無かった。

順位的には、4番目の生育であった。

##### \* 試験区（1）・・・液肥（タイプⅠ）＋肥料50%

初期段階より肥料過多の為、試験実施中生育障害が起きていた。

病気の発生は観察されなかった。

順位的には、5番目の生育であった。

##### \* 試験区（2）・・・液肥（タイプⅡ）＋肥料50%

初期段階では一時的に生育は伸びたが、試験区（1）と同様生育障害になった。

順位的には、3番目の生育であった。

##### \* 試験区（3）・・・液肥（タイプⅠ）＋肥料0%

初期より生育が順調であり試験区内では一番生育した。

順位的には、1番目の生育であった。

\*試験区 (4)・・・液肥 (タイプⅡ) +肥料 0%

初期段階では生育が遅かったが中間頃から生育が良くなった。  
順位的には、2番目の生育であった。

ロ) 評価

普通栽培に比べ液肥使用による生育は、著しく良かった。  
茎・丈とも対照区に比べしっかりしていた。  
肥料過多の土壌に肥料 50%投入すると生育障害が発生する。  
液肥使用により良い成果が検証された。

【 収 穫 】

イ) 収穫結果

\*対照区・・・普通栽培

対照区外普通栽培同様良質な生産品で収穫が出来た。  
順位的には3番目の収穫であった

\*試験区 (1)・・・液肥 (タイプⅠ) +肥料 50%

収穫初期は多少良好であったが、実が小さく収穫量は最低であった。  
生育障害が原因と思われる。  
順位的には5番目の収穫であった。

\*試験区 (2)・・・液肥 (タイプⅡ) +肥料 50%

収穫初期より実が数の割りには収穫量が少なかった。  
生育障害が原因と思われる。  
順位的には4番目の収穫であった。

\*試験区 (3)・・・液肥 (タイプⅠ) +肥料 0%

初期の段階から収穫量も多く良質なトマトに仕上がった。  
終盤は実が小粒になってきた。  
順位的には2番目の収穫であった。

\*試験区 (4)・・・液肥 (タイプⅡ) +肥料 0%

初期段階では多少収穫が減ったが徐々に高品質・高収穫となった。  
順位的には1番目の収穫であった。

ロ) 評価

液肥利用により収穫量の増加が検証された。  
液肥+肥料 50%区は障害により収量が減少した。

## 【 糖 度 】

### イ) 糖度結果

#### \* 対照区・・・普通栽培

普通栽培での糖度は8.0%前後と言われているが、初期よりかなり高い糖度が検証された。

順位的には平均糖度は2番目であった。

#### \* 試験区 (1)・・・液肥 (タイプ I) + 肥料 50%

生育・収穫は不振であったが全体に平均した糖度が検証された。

収穫最盛期時では高糖度が検証された。

順位的には平均糖度は1番目であった。

#### \* 試験区 (2)・・・液肥 (タイプ II) + 肥料 50%

試験区 (1) と同様

順位的には平均糖度は3番目であった。

#### \* 試験区 (3)・・・液肥 (タイプ I) + 肥料 0%

初期ではあまり糖度が上がらなかったが最盛期にはかなりの糖度が検証された。

順位的には平均糖度は5番目であった。

#### \* 試験区 (4)・・・液肥 (タイプ II) + 肥料 0%

初期段階から平均した糖度が検証された。

順位的には平均糖度は4番目であった。

### ロ) 評 価

液肥利用により全体的に高い糖度が検証された。

試食も数回行なったがトマトとは思えない糖度・食感であり好評であった。